

	協定に関すること	学生に関すること
部署	国際交流センター	庄原教学課
連絡先	082-251-9710	0824-74-1700
担当者	川口	平原

県立広島大学大学院・ダブルディグリープログラム1期生が修了！

県立広島大学（学長：森 永 力、所在地：広島市南区）大学院総合学術研究科 生命システム科学専攻では、本学初となるダブルディグリープログラム（DDP）協定をアンダラス大学（インドネシア）と締結しています。このたび、その第1期生2名が、両大学での学びを修了し、2つの学位を取得します。

DDP 学生の Nabila（ナビラ）さんは、環境にやさしい土壌改良材として期待される竹由来バイオ炭が、土壌中の微生物活動や温室効果ガス排出に与える影響を明らかにしました。本研究成果は、持続可能な農業に向けた土壌管理技術の開発への貢献が期待されます。

Salma Athiyya（サルマ・アティーヤ）さんは、パーム油製造で発生する廃棄物を活用し、農薬の検出に役立つ新たな蛍光材料及びセンサー技術を開発しました。本研究成果は、環境負荷の少ない簡便な検査技術の実現への貢献が期待されます。

両名は、それぞれの研究テーマに基づく研究活動に加え、本学学生や地域住民との交流にも積極的に参加しました。こうした活動は、本学の国際化の推進やキャンパスの多様性の向上に寄与するとともに、今後の教育・研究交流のさらなる発展につながることが期待されます。



左から Salma さん、Nabila さん

本学大学院では、地域に根差し、世界に通用する大学院を目指し、広い視野と高度な専門性を兼ね備えた人材の育成に取り組んでいます。DDP は、海外から学生を受け入れるだけでなく、本学学生もアンダラス大学で学び、同大学の修士学位を得ることができる双方向の国際教育プログラムです。異なる文化や教育システムの中で学び、交流する機会を通じて、本学学生が多様な価値観への理解を深め、国際的な視野を広げることが期待されます。

今後も DDP を通じて協定校との教育・研究面での連携を深めるとともに、学生同士の交流や海外での学びの機会を充実させ、本学学生の国際的な学びと成長につなげてまいります。

○ダブルディグリープログラム

「我が国と外国の大学が、教育課程の実施や単位互換等について協議し、双方の大学がそれぞれ学位を授与するプログラム（文部科学省ウェブサイトより引用）」。アンダラス大学の DDP 参加学生は、入学後1年間は原籍大学で学び、2年目に本学に入学します。令和8年9月に第2期生が入学予定。

○総合学術研究科 生命システム科学専攻

本専攻は豊かな自然と地域資源に恵まれた庄原キャンパスを拠点とし、生命科学、食品資源科学、環境科学に関する高度な研究の中で、人類が抱える諸問題の解決に取り組む専門性の高い人材を養成しています。